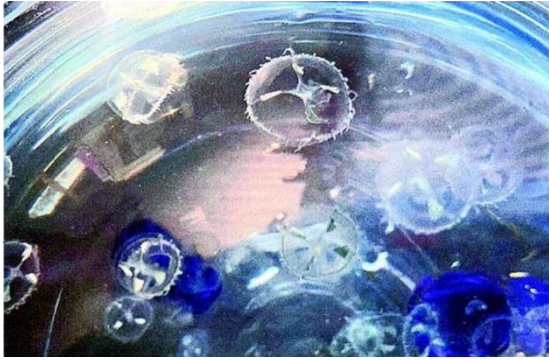


年 組 名前：



防火水槽から発見された淡水中に生息する「マミズクラゲ」

南アルプス市下今諏訪の防火水槽で、淡水中に生息するクラゲ「マミズクラゲ」が発見され、地域で話題になっている。マミズクラゲは「神出鬼没のクラゲ」とも呼ばれており、県内で見つかるのは珍しいという。クラゲを見つけたのは、白根東小の手塚友陽君（2年）、心陽さん（1年）のきょうだいと月川雅文君（1年）、小林樹里さん（1年）。4人は10月上旬、登校中を通り掛かった防火水槽の中で、体長2〜5センチほどの透明な生物が100匹以上浮かんでいるのを発見、調べたところクラゲと分かった。忍野・県立富士湧水の里水族

防火水槽でクラゲ発見

南ア 児童4人 登校途中に

館によると、発見されたクラゲは淡水中に生息する「マミズクラゲ」で、ため池や湖などの真水に夏から秋にかけて突如出現する。毎年同じ場所で見られるとは限らず、県内で見られるのは珍しいという。担当者は「クラゲを放出する、イソギンチャクのような『ポリプ』が何らかの理由で防火水槽に移りすみ、無性生殖で増えたのではないかと分析する。友陽君は「クラゲがいてびっくりした。ぶかぶか泳ぐ姿がかわいい」と感想。月川君は「近所でクラゲを見られてうれしかった」と話している。

〈穴山菜津美〉

(2022年10月18日付 山梨日日新聞 21面)

問1

南アルプス市の防火水槽で、小学生4人が、クラゲを発見しました。そのクラゲの名称と、何クラゲと呼ばれているか、教えてください。

・正式名称 ・呼ばれ方

問2

発見したクラゲの大きさを、教えてください。

.....

問3

水族館の担当者は、なぜ、防火水槽の中で、クラゲが生息したと分析しましたか。

.....
.....